

第30回 放送番組審議会 議事録

◆開催日：2017年3月23日（木）10:00～12:00

◆場所：J:COM札幌 本社3F会議室

◆出席者：番組審議委員6名中5名出席（1名欠席）

- ①山本 強（会長）北海道大学 大学院 教授
- ②北野 宏明（委員）北海道新聞社 常務取締役
- ③野々村芳和（委員）コンサドーレ 代表取締役社長
- ④讃良 美規（委員）ラ・ウィル 代表取締役
- ⑤成田寿美子（委員）MCミュージズ 代表取締役

J:COM札幌 代表取締役社長 西尾 武

J:COM札幌 札幌メディアセンター長 丸本 靖

J:COM札幌 管理部 地域プロデューサー（事務局）坂本 貢

J:COM札幌 管理部 地域プロデューサー（事務局）雨尾俊英

記

1. 山本会長 開会挨拶

札幌を中心に北海道は、東南アジアから注目を浴びている昨今、地域貢献の意味でもJ:COMを通して札幌の魅力をどんどん発信してほしい。

2. 各委員の自己紹介、近況報告

東南アジアと北海道の関連性の強化、札幌オリパラ招致に向けて、市内のスポーツ気運も上昇している。スポーツ応援宣言に反対する人はいない。

3. J:COM札幌 西尾社長 挨拶

札幌市内82万世帯のお客様を対象にケーブルテレビ事業を展開しており、市内エリアカバー率は約90%となる。また、コミュニティチャンネルの視聴可能世帯数も約510,000世帯となり、J:COMテレビ(10ch)は、「地域から全国発信」をテーマに、そしてJ:COMチャンネル札幌(11ch)は、「ど・ローカル」をテーマに編成としている。皆様には、コミュニティチャンネルのみならず、J:COMに対する忌憚のないご意見をいただきたい。

4. コミュニティチャンネルの報告

(1) J:COM加入（視聴可能）世帯数の概略

J:COMグループ全体、及びJ:COM札幌の概要を説明

(2) J:COMテレビ 10ch（J:COMグループ全局で放送）

「ご当地サタデー♪」「スターペット」「全国ふるさとタイム」「リオ五輪放送（ケーブルテレビ初）」

「AXN特別企画シカゴファイア（札幌市消防局との連携）」等について説明

(3) J:COMチャンネル札幌 11ch (札幌市内で放送)

「デイリーニュース」「札幌人図鑑」「sapporoジモスポ」「さっぽろSHOW」「GO!コンサドーレ」

「札幌市長定例記者会見」「わくわく一年生」「町内会DEサッポロスマイル」など、

地上波では放送されない町内会・学校・サークル単位の「ど・ローカル」に特化した番組を編成。

※札幌市と協力し、地域イベントを企画運営することも今後の検討材料のひとつ。

その他、特別番組として、「北海道神宮神輿渡御」「花火大会」「高校学校祭Special」「成人式特番」

「バドミントンS/リーグ札幌大会」「新春年頭挨拶2017」等も展開。

※「J:COMテレビ」と「J:COMチャンネル札幌」のサイマル放送として、さっぽろ雪まつりJ:COMひろばステージから

「ご当地サタデー♪さっぽろ雪まつりスペシャル」を90分間の拡大版として放送（秋元克広札幌市長出演）

5. J:COMチャンネル札幌の番組生放送見学

1Fスタジオ（副調整室）に移動し、「デイリーニュース」の生放送を見学。

6. 番組編成に関する意見交換

- ・「ど・ローカル」のコンセプトが明確で、特に「札幌人図鑑」は素晴らしいが、このような番組を放送している事の告知が少ない。出演者やその周りの方には認知度は高いが、それ以外の方には低い。もしかしたら、見たいの人に届いていないかもしれない。年代や地域など「個別ターゲットに合わせた戦略」を考えるべき。
- ・札幌人図鑑では、紙面では表すことのできない間合いやその人の人間性が出ていて面白い。
- ・年配者向けコンテンツを要望、年配者は健康志向が強い、ストレッチやヨガは、（映画とは異なり）リピート放送でも問題ない。また、スポーツクラブに通うのは、仲間づくりとおしゃべりが目的でもあるので、たまにスポーツクラブで公開収録のようなモノも有るとなお良い。
- ・決まった時間に決まったチャンネルで健康ダイエット番組があれば視聴する。同じようなコンテンツはNETでも多々あるが、年配の方にとっては、「何時、どのチャンネルでやっている」という安心感が大切。
- ・自分自身や子供が出演する番組は、あらゆる手段を使って視聴（録画）をするし、テレビに自分が映ることはモチベーションのアップにも繋がる。そして、一人の子供には4～5名の大人が付いており、その影響力は大きい。
- ・地上波との差別化として、札幌市長の定例記者会見を放送し、市民に届けることは大変意義のあること。
- ・若者は、固定電話やテレビをあまり必要としない。何故なら、それらの代替ツールが溢れているから。したがって、テレビも新聞も同じだが、ニーズやターゲットに合わせて如何に習慣つけるかが重要で、習慣つけるプロモーション展開が大切。
- ・J:COMサービスのひとつ「おまかせサポート」は、年配者にとってはとても良いサービスなので、もっとPRするべき。
- ・地域貢献活動も、「どこがやっていて、どこがやっていない」というイメージは、どうしても地上波の影響が大きいので、本来ではないが、それらの活動を上手にPRしていくことも重要である。

7. 昼食

「2016年度 J:COMチャンネル札幌・ダイジェスト版」を視聴しながら昼食及び意見交換

8. 閉会

以上